

【校訓】 ひろい心で さわやかに  
【学校教育目標】 未来を拓く児童が育つ

# 広 沢 小 だ よ り



11月号



【目指す児童像】 ・主体的にやりぬく子「挑戦・責任」 ・みんなを大切にする子「協働・対話」 ・より深く考える子「深化・創造」



埼玉県では、教育に対する関心と理解を一層深める機会として、毎年11月1日を「彩の国教育の日」11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としました。詳しくはこちらから→<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/kyouikunohi/>



## 学びの極意とは？

校長 辻 英一

埼玉県立総合教育センターが教職員向けに年6回発行している「埼玉教育」を購読しています。県内の先生方の実践等がいろいろと乗せられており、毎回楽しみにしています。その中で、「巻頭言」のページがあり、ここでは、教育関係者以外の幅広い方々からの教育にまつわるお話が載っていて、とても興味深いです。

今から1年前の記事で、歌手・俳優の武田鉄矢さんの巻頭言が、今でも強烈に心に残っています。今月号の学校だよりは、ほぼ武田さんのお話のお力を借りたいと思います。

お話の前半は、武田さんと母親との昔話。ユーモアを交えながらの独特なあの語り口が目と耳に蘇ってくるような文体には、驚かされました。何としても息子を教師にさせたい母親の意地と、フォークシンガーの夢のために東京へ家出した息子の行動の絡みは、それだけでも面白いエピソードなのですが、武田さんはそこから「学びの極意」について、私たちに考えさせます。

「学び」は「生きる力」に変換されたとき、意味として出現するという仕掛けです。ややこしい手順ですが「学び」の極意はこのややこしさの中に隠れています。さて、ここからその「学びの極意」へ進みます。人の「学び」にはとても不思議な様相があります。それは「知っている」ことをすべて忘れて「知らない」という境地に立たねば使い物にならない「学びの極意」があることです。(武田鉄矢さんの「巻頭言」より)

一度読んだだけでは、なかなか腹落ちしないところもありましたが、何度も何度も頭の中で繰り返しました。「知らない」境地に立たねば使い物にならない「学びの極意」とは…。

その答えとして後半では、心理学者の佐々木正人さんの著書の中のエピソードを引用し、私たち教職員向けに学びの極意について語りかけています。フライフィッシングでフライを正確に落とす技術を熟っぽく語る少年に、心理療法士の先生が重大な指摘をします。

「君は上手なんだ。(中略)でも君は一番大事なことに気付いていない。竿の振り方、力加減、キャストの角度、流れのどこにフライを落とすか。君はすべてを知っているかもしれないが、釣りをする時、君はそんなことひとつも考えていない筈だよ。君が考えていることを当ててあげよう。“あそこに魚がいる。あそこにフライを飛ばして、あそこに落ちろ” そのことだけに集中して、後は全部忘れてる筈だよ。」

これこそが「学びの極意」です。「学び」を「何のため」に「どう使うか」そんな操作は考えてはならない。それは身体に委せることである。

(中略)これほど長い期間を「学び」のために学校に通い続けるのは「学び」を身体に委せる習慣を作るためです。この「学び」の習慣だけが「生きる力」になります。(武田鉄矢さんの「巻頭言」より)

私にもこんな経験がありました。あるとき教室に行くと、黒板がとてもきれいで、チョークが色ごとにしっかりと分けられている学級がありました。低学年だったので子供たちに「いつもこうなの」と尋ねたら、「そうだよ、なにか？」と当たり前のように答えてくれたのです。

今は子供によっては、「なんでこんなことするの」とやや敬遠気味な答えが返ってくることもあります。また大人でも子供にそこまでさせなくていいのではという考えの方もいらっしゃるかと思います。子供が身に付ける内容にもよりますが、「学び」の視点でとらえたときに、そういう行動や活動が当たり前のように習慣化すること、意味の理解を超えて自然な行動や活動になること、そのことが極意であり、その意義や大切さを考えさせられました。

最後に武田さんは、こう言っています。「…しかし『学びの極意』を手にする作法は簡単です。まずはまっすぐに手を挙げ、柔らかな声で『よく判りません。教えて下さい』と言えたら良いのです。」と。子供たちが素直な気持ちを自然に出せる場や、なんでも積極的にチャレンジし、やってみたことから考えられる雰囲気など、学びの極意を育める「環境」を醸成することが私たちに求められていることなのかもしれません。

# 11月の行事予定

1	火	短縮5時間 ○個人面談①
2	水	5年リサイクルスタディー(5・6時間目) よっひろタイム(学校集会+読み聞かせ)
3	木	文化の日
4	金	1年生活科見学(樹林公園) 1年オンライン授業 14:00
5	土	
6	日	
7	月	委員会活動④ 3年市内めぐり(地福寺・熊野神社) 4年福祉共育(点字体験)
8	火	短縮5時間 ○個人面談② 1年生活科見学(樹林公園予備日) 2年読み聞かせ(昼休み 図書委員)
9	水	1年読み聞かせ(よっひろタイム 図書委員) 短縮5時間 ○個人面談③
10	木	5年市内音楽会
11	金	短縮5時間 ○個人面談④
12	土	市民まつり
13	日	市民まつり
14	月	県民の日
15	火	6年華道教室(5・6時間目…体育館) 3年市内めぐり(地福寺・熊野神社) 予備日
16	水	よっひろタイム 短縮5時間 ○個人面談⑤
17	木	2年生活科見学(東武動物公園)
18	金	短縮4時間+給食(教職員研修のため)
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	短縮5時間(教職員研修のため)
23	水	勤労感謝の日
24	木	
25	金	<b>&lt;赤い羽根共同募金&gt;</b> 広沢小学校取組期間:11月1日~22日
26	土	広沢小でも赤い羽根共同募金に参加します。
27	日	※職員室前に募金箱を設置しています。
28	月	
29	火	4年福祉学習
30	水	懇談会(低・み) よっひろタイム(学校集会)

※感染状況により今後の予定は変更になる場合があります。

## <和光市学校給食費補助金について>

~11月・12月の学校給食費2ヶ月分を無償化します~

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることや、物価高騰の影響により家庭への負担が増加していることから、和光市立小・中学校では令和4年11月・12月の2ヶ月間の給食費を和光市として全額補助することになりました。そのため、上記2ヶ月分の給食費の引き落としは行いません。

10月号でお知らせした4年生~6年生の減額分は1月分の給食費から減額して徴収させていただきます。1月の引き落とし日は、1月10日(火)です。よろしくお願ひします。

## <11月・12月の主な日程>

1 1月個人面談(希望制)…5時間授業

1日(火)、8日(火)、9日(水)、11日(金) 16日(水)

1 1月4日(金) 1年生活科見学(樹林公園)

予備日8日(火)

※下校 13:30 後 14:00~ 1年のみオンライン授業

7日(月) 3年市内めぐり(寿福寺等)

予備日15日(火)

1 7日(木) 2年生活科見学(東武動物公園)

1 8日(金) 短縮4時間+給食(職員研修のため)

2 2日(火) 短縮5時間+給食(職員研修のため)

3 0日(水) 懇談会(低学年・みどり) 予定

1 2月1日(木) 懇談会(中学年) 予定

2日(金) 懇談会(高学年) 予定

## <読み聞かせ>

10月5日(水)のよっひろタイムに保護者、第二中読み聞かせの会による「読み聞かせ」を3年ぶりに実施しました。子供たちは目をキラキラさせながら物語の世界に引き込まれていました。素敵な時間をありがとうございました。次回は11月2日です。



## <手をつなぐ親の会会費について>

ご協力いただきました会費は、保護者と職員あわせて60,700円集まりました。こちらは事務局を通じて、市内児童生徒の福祉のための充実や健全育成に役立てられます。どうもありがとうございました。

## 11月は「いじめ撲滅強調月間」です

いじめられた子供には心身に深刻な被害が生じることがあります。いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。埼玉県では、11月を「いじめ撲滅強調月間」に制定し、いじめ問題の根絶に取り組んでいます。いじめを受けていたり、いじめに気が付いたりしたら一人で悩まず相談・通報してください。

○よい子の電話教育相談(埼玉県立総合教育センター)

【相談内容 いじめ、不登校、学校生活】

18歳以下の子供用(無料)

#7300 又は 0120-86-3192

保護者用 048-556-0874

(毎日24時間)

Eメール相談 soudan@spec.ed.jp

※Eメール相談の受信確認及び返信は、

平日9時から17時の時間帯に行っています。



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」